

令和3年度（2021年度）
地域との協働による高等学校教育改革推進事業
（プロフェッショナル型）

研究実施報告書（第3年次）

令和4年（2022年）3月



熊本県立天草拓心高等学校

本報告書は、文部科学省の委託事業として、熊本県教育委員会、熊本県立天草拓心高等学校が実施した令和3年度（2021年度）「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（プロフェッショナル型）」の成果を取りまとめたものです。

したがって、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続きが必要です。

巻頭言

熊本県立天草拓心高等学校長 中村 洋介

令和元年度(2019)から3年間、文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業(プロフェッショナル型)」の委託事業の採択を受け、多くの皆様方から御教示、御支援をいただきながら取り組むことが出来ました。しかし、コロナ禍での推進事業となり、全てが計画通りに実施できなかったものの、この3年間の事業内容並びに研究成果を報告いたします。

本推進事業の研究構想である、「産業イノベーション人財の育成～天草の魅力ある農業で持続可能な未来を拓くリーダー～」のテーマのもと、「地域資源を活用して学科の枠を超えた学びから、身に付けた資質・能力を最大限に発揮し、地域のあらゆる資源を発掘・活用することで、農業に関連する産業を改革(イノベーション)することができる高度な「3つの力」(連携する力、協働する力、変革する力)を兼ね備えた人財。また、変化する2030年の社会において地方創生の要を担うことができるクリエイティブな農業人の育成を目指し、研究を進めました。

研究開発の実践として、「天拓プロジェクト」(地域課題を題材にした課題研究型学習)、「職業観の育成」(天草を支える人材を育てるための職業観育成プログラム)、「天草拓心版オーダーメイド学習評価法(AOLA)」の構築に取り組みました。

取組の成果として、カリキュラム開発により3カ年の学習を横断的・系統的に経験した生徒の変容が挙げられます。また、評価基準の明確化により、生徒個々の成長に合わせた目標設定を可能にしました。コンソーシアムとの協働によるプロジェクト活動では、生徒の地域理解及び地域人材との連携の輪の広がりが挙げられます。このことで地域人材による生徒の教育支援体制に繋がりをもてるようになりました。

授業改革で得られた成果は、研修・授業実践を通じた教員の授業改善への意識向上や振り返りと共有を通じた授業改善実践例の蓄積です。また、授業改善による生徒の理解及び意欲の向上が挙げられます。

本校は、この3年間の研究成果を生かし県内外に普及を行い、他校との情報交換からブラッシュアップを行います。次年度以降の取組として、熊本県スーパー・ハイスクール構想で更なる研究開発を進めます。更に進化した社会に適応する人財育成を目指して、卒業生の意識調査を継続して取り組む予定です。忌憚のない御意見や御感想等をいただければ幸甚です。

終わりに、地域との協働による高等学校教育改革推進事業の3年間の取組に対して、多大なる御指導・御支援を賜りました文部科学省、熊本県教育委員会の皆様並びに関係大学、企業、各事業所の皆様、そして、運営指導委員及びコンソーシアム委員の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

目 次

第1章 研究の概要

1	研究開発テーマ	1
2	研究開発の目的	1
	(1) 研究の背景	
	(2) 研究開発の目的	
	(3) 研究開発の仮説	
3	研究開発の目標	4
	(1) 産業イノベーション人財の指標	
	(2) 成果目標（アウトカム）・活動指標（アウトプット）	
	(3) 定性目標	
4	天草拓心版オーダーメイド学習評価法（ $\bar{A}\bar{O}\bar{L}\bar{A}$ ）について	6
5	研究開発の内容	8
	(1) 「天拓プロジェクト」（地域課題を題材にした課題研究型学習）	
	(2) 「職業観の育成」（天草を支える人材を育てるための職業観育成プログラム）	
	(3) 「天草拓心版オーダーメイド学習評価法（ $\bar{A}\bar{O}\bar{L}\bar{A}$ ）」の構築	
6	学校の概要	11
7	研究開発体制	12
	(1) 校内の研究実施体制	
	(2) 運営指導委員会	
	(3) コンソーシアム体制	
	(4) プロフェッショナル型コーディネーターの指定及び配置計画	
	(5) 地域協働学習実施支援員の指定及び配置計画	
	(6) 研究開発に係わる校内体制図	
8	研究のイメージ図	15
9	カリキュラムを含めた研究イメージ	16

第2章 事業概要

1	契約締結	17
2	予算令達	17
3	研究推進体制	17

第3章 研究の内容

1	天拓プロジェクトによる探究的学習への取組	22
2	SBP活動	75

3	職業観の育成	79
(1)	プロフェッショナルによる講演・講話Ⅰ	
(2)	プロフェッショナルによる講演・講話Ⅱ	
(3)	プロフェッショナルによる講演・講話Ⅲ	
4	研究成果発表会	86
5	コンソーシアムの運用	89

第4章 実施の効果とその評価

1	今年度の活動指標（アウトプット）	95
2	評価の方法	96
3	本構想において実現する成果目標の結果（アウトカム）	97
4	研究内容の評価	97
5	生徒の変容	100
6	アンケート結果の数値から作成したグラフ	105
7	外部評価	107
8	研究開発の成果	108

第5章 研究実施の問題点及び今後の方向性

1	事業全体の問題点と方向性	109
2	課題研究型学習「天拓プロジェクト」	110
3	職業観を育成するための取組	110

関係資料

	ルーブリック評価一覧	112
	コンソーシアム会議議事録	113
	運営指導委員会議事録	133
	令和3年度教育課程表	146
	令和3年度事業運営実績一覧	150